

令和7年6月13日(金)

50th
ANNIVERSARY



今日の2年生の英語の授業は、スピーキング力を高めることをねらいとしました。自分の好きな食べ物について、英語で相手に伝えるのがゴールです。まずは、スクールタクトを使って、ウェビングマップを作成しました。自分の好きな食べ物を真ん中におき、その周囲に好きな理由や好きな食べ方などのキーワードを展開していきます。これが、英会話のもとになる材料というわけです。My favorite is～. Because,～. So, I love～.などの構文を参考にしながら、組み立てていく生徒が多かったです。



理科室では、実験が行われていました。こちらも2年生です。化学変化による熱の出入りを調べるのが課題です。化学変化というと発熱を伴うというのが、一般的なイメージだと思います。本当に、化学反応は、すべて発熱するのでしょうか。本時は、2種類の化学反応で検証しました。一つ目は、鉄粉と活性炭と塩水を混ぜた場合の反応、二つ目は、炭酸水素ナトリウムとクエン酸と水を混ぜた時の反応です。生徒は化学反応前と反応後の温度を計測して確かめますが、ポリ袋の外側に触れただけで温度の違いを顕著に感じることができます。「おお、あったかい～」「あれ、つめたいぞ??？」など、つぶやきが聞こえました。そうなんです。化学反応は、発熱する場合と、反対に熱を奪う場合があるのです。



3年生は、福祉学習の一環として、聴導犬に関する講演会を実施しました。聴導犬協会から講師を招き貴重なお話をいただきました。聴導犬のラブラドルレトリバー「ひまわりちゃん」も来てくれました。聴導犬は、音を聞くことが主な仕事ですが、聴導犬にしても介助犬にしても、ユーザーを助けるためには力強さも必要だとのことで、大型犬が選ばれることが多いそうです。また、精神的に安定していることも大切な要素だそうです。これは、犬によって性格がまちまちなので、聴導犬に適した個体とそうでない個体があり、育てる上での醍醐味でもあるようです。



6時間目の国語は、またまた2年生の教室にお邪魔しました。今、枕草子を学習しているところですが、今日は「自分流枕草子」を創作するのが目的です。自分が感じる四季のよさを伝えるためのオリジナルな作品を書きます。ここでもスクールタクトが活躍しました。枕草子の構文を用いたシートが配付され、そこに生徒たちが打ち込んでいきます。ある生徒がこんな作品を作りました。



夏は花火。大きく開く花火は言うまでもないが、線香花火もやはり、はかなさがあってよい。夏の風物詩をうまくとらえて表現していますね。